認定／特定非営利活動法人　国際協力 NGO・IV-JAPAN　Newsletter　2020.12.31 発行

IV-NEWS

Vol. 40

古都ルアンパバーンのモン族の少女

ルアンパバーンの全景

ルアンパバーンの仏像

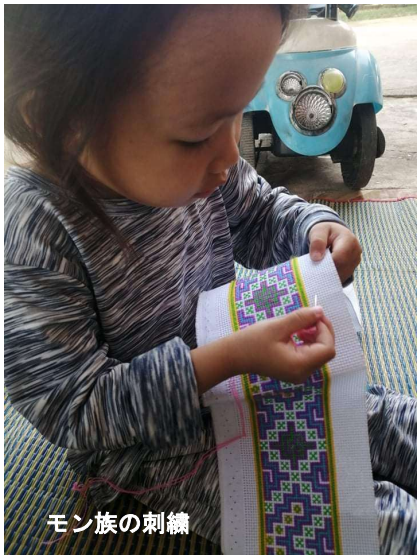
ラオスにはユネスコ世界遺産に認定された所が 3 カ所あります。1995 年 12 月 9 日に最初に認定されたのが、北部にある古都ルアンパバーンで、今年で 25 年になります。ルアンパバーンは 14 世紀にファーグム王によって建国されたランサーン（百万頭の像の意味）王国で、1560 年にセーターティラート王が現在の首都ビエンチャンに遷都するまで、ランサーン王国の王都でした。遷都後もファーグム王がカンボジアから持ち帰ったとされるスリランカの小さな 83cm の仏像は残されていたので、シェンドーンシェントーンという地名が以後ルアン（都）パバーン（仏像）と改称されました。ルアンパバーン市内の 33 カ村が世界遺産に認定されて、60 以上のお寺と 3000 人の僧侶が住んでいます。

木造の伝統建築の建物やフランス植民地時代のフランス風の建物も多く残っていて、古都の風情を色濃く残していて、まるでおとぎの国のような感じがします。地元の人に会えるのはナイトバザールや朝市でしょうか。ナイトバザールではモン族の手芸品がたくさん売られています。

モン族はとても器用で、刺繍を得意としています。20 数年前にモン族の 10 歳くらいの少女イエンちゃんとナイトバザールで出会いました。私はベッドカバーを探していて、私の好みのものがなかったので、あきらめかけたら、イエンちゃんが、片言の日本語で、明日来てくれたら仕上げて持ってくる、というので、次の夜出かけると、チャ～ンとありました。家族中で刺繍をして一晩で仕上げてくれたのです。兄弟姉妹は 12 人、手はたくさんありますと。

彼女の生い立ちも話してくれました。小学校は途中までで、お母さんの手伝いで家からナイトバザールまで毎日 1 時間歩いて、売り子をしていたそうです。日本人のお客さんが来るたびに友達になり、独学で 5 年間勉強して、日本の旅行会社が LP に支店を出すときに雇ってもらいました。

イエンさん親子


モン族の刺繍

それから 2 年間日本文化や歴史を勉強して、18 歳の時にガイド試験に受かり、日本語ガイドをしています。19 歳で結婚して今は 10 歳の長男龍太（りゅうた）君と 3 歳の長女さとみちゃんがいます。実は私が 2 人の子の名付け親です。長男には龍の名前が希望でしたので龍太、さとみちゃんは 104 歳の母と同じ誕生日でしたので、母の名前を付けました。長寿にあやかりたいと喜んでもらえました。

今年は観光客も来ないので仕事がなく、旅行会社も閉鎖され、仕事がありません。今は自給自足で節約し、常のように庭の果物、野菜を育て、鶏を飼い、コロナ禍が終わるのを待ちます、と。

ホスピタリティ研修修了式と年次報告会、介護研修開講式

ສຶກສາ-ກີລາ

ຊາວໜຸ່ມ, ແມ່ຍິງ-ຜູ້ດ້ອຍໂອກາດ 4 ແຂວງ
ສຳເລັດຍົກລະດັບຫຼັກສູດການໂຮງແຮມ ແລະ ດູແລຜູ້ສູງອາຍຸ

ຊາວໜຸ່ມ, ແມ່ຍິງ ແລະ ຜູ້ດ້ອຍໂອກາດຈາກແຂວງຫຼວງພະບາງ, ຊຽງຂວາງ, ຈຳປາສັກ ແລະ ແຂວງວຽງຈັນ ຈຳນວນ 15 ຄົນ ໄດ້ສຳເລັດການຍົກລະດັບຄວາມຮູ້ຄວາມສາມາດກ່ຽວກັບຫຼັກສູດການໂຮງແຮມ ແລະ ດູແລຜູ້ສູງອາຍຸ ເພື່ອເປັນການສົ່ງເສີມໃຫ້ຊາວໜຸ່ມມີວຽກ

研修修了式の様子が新聞記事に掲載された

11 月 27 日にホスピタリティ研修修了式と年次報告を行いました。修了式では冨永代表に日本からオンライン＋プロジェクターを使って研修生に 3 カ月間慣れない寮生活を頑張ったことやあと 3 カ月続く介護の研修も頑張るようにと励ましの言葉がありました。来賓として出席されていた副郡長が「COVID-19 時代のやり方だなあ」と感心しておりました。成績優秀だったルアンパバーン出身のブアンチャンが答辞を述べ、来賓の方や研修生全員でお昼ご飯を食べました。

閉講式の様子は当日、すぐに地元の KPL 紙の facebook に掲載され、翌週の新聞記事にもなりました。お昼ご飯の前に行った年次報告会では教育・スポーツ省、ビエンチャン特別市教育・スポーツ局、ナーサイトン郡の担当者などから忌憚のない意見をいただきました。その一方、研修生の就職先斡旋に力を貸すよ、と温かい言葉もありました。

12 月 2 日はラオスの独立記念日のため、この週は研修の中休みとしたところ研修生全員が帰省しました。久しぶりに自宅に戻り、英気を養った研修生は 12 月 7 日に戻って 3 カ月間の介護研修が始まりました。開講式は式典にせず、3 カ月間の研修概要の説明のほか、寮長（元郡の教育スポーツ課長）から寮の規則の遵守を求める訓示をいただきました。残念ながら過去 3 カ月に一部の寮生による門限破りや無断外泊があり、それを諫めたものです。でも決して上から目線で叱るのではなく、再三求めたのは寮生の連帯。そのために土曜日に寮長も加わり、バレーボールやバトミントンなどのスポーツを通じて寮生間の親睦を図ろう、という提案もありました。

12 月 7 日に行われた介護研修開講式の様子

介護研修はホテルに来たご高齢の方にどのように接するのかを学ぶものです。初級の介護技術を学ぶので研修生からは身近なお年寄り、具体的には彼ら、彼女らの祖父母や親戚の高齢者の介護に役立ちそう、という期待が強いです。基本的には研修生同士で介護の訓練、例えば車椅子の介助やベッドの世話などを行いますが、時々は本物のお年寄りに来ていただき、どのようにコミュニケーションをとりながら介護するのかも学びます。ちょうどいい具合に近所の 70 歳過ぎの方が毎夕、研修の様子を見に来ていたのでモデルを依頼したところ快諾いただきました。また、ホテルで仕事をするには外国人とのコミュニケーションが欠かせません。必須の英語を毎週金曜日に学びます。テキストはタイで発行されているホテル従業員用の英会話集。先生は隣の中学校の英語の先生をしていた訓練センタートレーナーのマイチャン先生。「14 年間、英語を教えたけど私、英語が話せないの」というので 26 年間ラオスに関わっているけどラオ語が話せない筆者を自虐ネタにして笑い合っております。介護研修の様子は HP や facebook などで折に触れてご報告いたします。

JICA 木工プロジェクト近況報告

現在、木工プロジェクトでは、カウンターパートのラオス職業教育開発機関（以下、VEDI）と、木工技術ビデオの製作に力を注いでいます。VEDI 木工科教員のチャンタチョン先生のスツールの作り方のビデオは全てアップロードが完了し、現在は、木工トレーナーのエイプさんの食卓机の作り方のビデオをアップロードしています。

次にアップロードするのが、VEDI 木工科教員のソムチット先生によるハンガーの作り方です。やっと動画製作が終わりました。というのも、ビデオの取り扱いになれたルンさんがいないときに、木工トレーナーのエイプさんがビデオを撮影したところ、音声が入っていなかったり、きちんと撮影されていなかったりと、最初に作ったハンガーの動画がボツになってしまったからです。そこで、ソムチット先生に同じ作品をもう一度作ってもらいました。ときどきトラブルはありますが、動画作りに慣れてきて、良い動画ができるようになっています。皆様にもご覧になっていただければ幸いです。

※木工技術ビデオのアドレス（YouTube）
https://www.youtube.com/channel/UCxcxnPOQn-_arTSUk2PvRQA

ソムチット先生が作った洋服ハンガー

VEDI 木工科教員　チャンタチョン先生へのインタビュー

1. 名前と所属を教えてください。

私の名前はパンタヴォン・チャンタチョンと申します。ラオス職業教育機関（以下、VEDI）の建築木工学科所属で木工を担当しています。

2. 木工プロジェクトに関わっての感想を教えてください。

IV-JAPAN のプロジェクトに関わることができてとてもうれしく思います。VEDI やラオス全国の職業教育校にとって、重要かつ必要な木工教育の質の向上のために尽力してくれています。トレーニングで、日本人専門家から学んだ技術は、私も含め、参加した全員の木工科教員が学生の指導に役立てています。

学生を指導する
チャンタチョン先生

3. 木工トレーニングを通してどのような変化がありましたか？

まず、実際に木材を裁断する前に、図面をしっかり書き、また必要な木材を計算するようになりました。このことにより、注文主との意思の齟齬や、裁断後に間違えるということが少なくなりました。また、日本の木工の技術を学んだことにより、質の高い家具作りを行うことができるようになりました。その他にも、家具図面の書き方、木工機械整備など役に立つ技術を多く学びました。

4. チャンタチョン先生は、地方の職業教育校にモニタリングに行きましたが、どのような変化があったか教えてください。

トレーニング前に比べて、木工科教員の技術が向上していることが分かりました。学生に対して、日本人専門家の指導と同じ手順で技術を指導していました。またトレーニング後には、それまでよりも、それぞれの学校で製作する家具の量が増えています。丈夫で、細かいところまできちんと作った、美しい家具がそれぞれの学校で製作されるようになりました。

5. IV-JAPAN に今後期待することはありますか。

トレーニングを通して、木工科教員の技術は上がりましたが、それぞれの学校では、木工機械や木工工具が古くなり、トレーニングの成果を十分に学生に伝えられない部分があります。もし、地方の学校に対して、機材面の支援をいただくことができれば、より一層地方の職業教育校の教育の質を向上させることができます。

マイクロファイナンスローン事業近況報告

面接の様子。
希望者は左から２人目。彼女は貸し付け対象者となりました。

しばらく申し込みがなかった当会独自の夢屋少額資金貸付制度（以下、ＭＦ）ですが、2020 年 12 月に 6 名の申し込みがありました。そもそも当会のＭＦは富山県の夢屋さんからいただいた資金を基に木工、縫製、料理、理美容の職業訓練上級コースの卒業者で起業をする卒業生に少額の 500 万 kip（5 万円程度）の起業資金を貸し付けて 2 年間かけて少しずつ返済してもらう、というシステムです。対象とするのは起業に必要な機械の購入費など。例えば縫製ならミシン、料理なら調理機器、理美容なら理美容道具、木工なら工作機械などです。

2 年前には木工の起業者が木工機械を購入する資金として借り、きちんと返済されました。今回、久しぶりに申請があり、貸し付け条件を改めて検討し、貸付金は 500 万 kip（木工は 1000 万 kip）まで、返済期間は 2 年間、据え置き期間は最初の 3 カ月、金利 4%に設定しました。例えば 500 万 kip を 1 月から借りた場合、据え置き期間 3 カ月を過ぎた 4 月から毎月 25 万 kip を返金し、20 カ月で元本を返済。最後の 24 カ月目に金利分の 20 万 kip を返済する、というものです。

申し込みがあったのはいずれも縫製の卒業生で値が張りますが、端縫いの始末等にプロには必須なロックミシンなどの購入費に充てたい、というもの。希望者全員から身上書と起業資金計画表を提出してもらい、審査員は起業に成功した元縫製トレーナー、IV-JAPAN の元職員、現職員、それに職業訓練所上級コース長にお願いして本当に起業できるのか、返済できるのかを本人に面接して聞いていただきました。その結果、審査員全員が北部ルアンナムター県出身の女性を推挙。もう２人、チャンパサック県出身者とビエンチャン県出身者も甲乙つけがたい、というので今回は３名にＭＦを支給することとしました。返済は地方にも支店がある銀行を利用して行います。また、時々は facebook に現況をアップしてもらい、ビジネスの進捗をチェックします。その写真、記事が皆さんとシェアできるといいなと思っています。

Laos Office
P.O. Box: 7920, Lao-Thai Rd,
Watnak Village, Sisatthanak District
Vientiane cap, Lao PDR
Tel/fax: 021-316047, Mob: 020 55515122
E-mail: ivjapan.vte@gmail.com

Headquarter
City Hills 101, 2-545-2, Mihashi,
Omiya-ku, Saitama-ken, Japan 330-0856
Tel/Fax: +81 48 622 8612
E-mail: iv-japan@vanilla.ocn.ne.jp
URL: http://www6.ocn.ne.jp/~iv-japan/

International Cooperation NGO•IV-JAPAN

ใบสะໜັກທົນການສຶກສາ
Thanks letter for Champer Yamanotami Scholarship

ຊື່ ແລະ ນາມສະກຸນ (Name and Surname)	ນາງ ສີທອນ ສີປະໂສດ.		
ວັນ, ເດືອນ, ປີ ເກີດ (Date of Birth)	6. 8. 2000	ອາຍຸ (Age)	20 ປີ
ລະດັບການສຶກສາ (Education background)	ມ7		
ຊົນເຜົ່າ (ethnic)	ລາວລຸ່ມ		
ບ້ານເກີດ (Hometown)	ໂພນທາ		
ເບີໂທລະສັບ (Telephone No)	020 58295801		
ອາຊີບປັດຈຸບັນ (Occupation)	ພໍ່ (Father): ກະສິກອນ ແມ່ (Mother): ກະສິກອນ ໂຕເອງ (Myself):		
ໂຄງສ້າງຂອງຄອບຄົວ (Family structure)	ຄອບຄົວຫຼັງໜັກ 6 ຄົນ. ພໍ່,ແມ່.ແມ່ເຖົ້າ,ອ້າຍ 2 ຄົນ ແລະຕົວຂ້າເອງ		
ລາຍໄດ້ຄອບຄົວສະເລ່ຍຕໍ່ປີ (Average income per year of family)	8,000,000 KIP		
ສາຂາວິຊາຮຽນ (Training field)	☑ ສາຂາວິຊາການໂຮງແຮມ ແລະ ການດູແລເບິ່ງແຍງຜູ້ສູງອາຍຸ (Hospitality & Care Working)		
ປຸງແຕ່ງອາຫານ (Cooking) ☐	ຕັດຫຍິບ (Dress making) ☐	ເສີມສວຍ (Hair dressing) ☐	
ໄລຍະເວລາຮຽນ (Training duration)	☑ ລະດັບຕົ້ນ (Basic) ແລະ ລະດັບກາງ (Intermediate): 6 ເດືອນ (6 months) ☐ ລະດັບສູງ (Advance): 6 ເດືອນ (6 months)		

奨学生からの手紙（サンクスレター）紹介

シートン・シーパサット
（ルアンパバーン県出身・女性）

・まず初めに、職業教育訓練に参加する機会をいただき感謝いたします。ここでの学びの機会は新しい知識や技術を学ぶことができ、私自身が大きくなれる気がしてます。

・私の家は貧しくて十分な教育の機会が得られませんでした。そのため職業訓練に参加して学ぶことができて幸せです。ここに来たことをとても感謝しております。

・ここで学んだことを私は、私の家族、地域の発展のために役立てたいと考えております。また、私が学んだことは私だけのものにしないで他の貧しい方々にも伝えてよりよい生活のためになるようにしたいと考えております。

奨学金ドナー紹介

高岡万葉ロータリークラブ　様（チャンパー山の民奨学金 5 名のドナー）

「スモールラグジュアリーホテルで活躍できる人材を」
新たに取り組まれたホスピタリティ訓練コースも軌道に乗り、初の卒業生を送り出されたことはとても喜ばしいことであり、心よりお祝い申し上げます。

高岡万葉ロータリークラブがラオス職業訓練校への支援を続けて早 9 年目。その内容はミシンの寄贈からはじまり、山の民訓練生への奨学金援助へと変貌を遂げています。

その間、私は 3 度ラオスの職業訓練校を訪問する機会に恵まれました。2018 年 11 月、冨永代表から「ここにホスピタリティコースの校舎が建つ予定なの。」と現地で説明を受け、さらに 2019 年 10 月、まだ訓練生を受け入れる前のピカピカの校舎を見学しました。異国で熱い思いが徐々に形になってゆくのに触れ、私自身何をしたわけでもないのに、感慨深く感じています。

これからカリキュラムの一層の充実を図られ、是非、ラオス国内のスモールラグジュアリーホテルにおいて、素敵な笑顔とスマートな身のこなしで活躍できる人材を多数輩出されることを期待しています。

今年度はコロナ禍ということで、当クラブ会員の訪ラオは叶いません。落ち着きを取り戻した暁には、ナーサイトンに赴きホスピタリティ訓練コースを改めて見学する機会を頂戴したいと思います。日本とラオスの架け橋がさらに強固になる様、貴会の益々のご発展を祈念申し上げます。

幹事　松村泰隆　記

石坂幸子 様（チャンパー山の民奨学金ドナー）

まず手紙を読んだ時、涙がこぼれました。私はささやかなお手伝いしかしておりません。あなた達は他の人のためにこれからも努力していきますと書いてありましたことに感動いたしました。

今世界がコロナで皆さん心が疲弊しています。私も今年（※2020 年）４月頃怖くて震えがきました。周りを見回しましたが、日本人はすごく冷静で耐えた気がします。今までは序章にすぎず、これから日本も冬に入り、本番が来ます。覚悟はしていても、いざ感染者がもっと増え続けると、どうなるのかなぁと思います。この未曾有に立ち向かわなければと自分に言い聞かせております。

私があなた達を知ったのは、孫と観ていたテレビに冨永さんが出ていたことがきっかけで、すぐに孫に手伝ってもらい連絡し、IV-JAPAN の日本事務局にたどり着きました。私は 50 代頃からずっとボランティアしたいなぁと思っていました。日本人の冨永さんを見て腰を上げました。テレビを観ていた孫は現在 20 歳になり、大学生です。私と共に生きてきました。卒業まであと二年半です、楽しみに生きております。

希望、夢をもって諦めないで下さい。一日一日が将来を作ります。我慢、努力した分、自分に還ってくると思います。例え物質は貧しくても心だけは豊かな人でいて下さい。遠いところからですが、見守っています。

社交ダンスで健康を

幸子のラオスだより　～モン族の正月～

モン族は例年、各地で米の収穫後の最初の新月の日が、お正月となりますが、住んでいる地域によって収穫の時期が違うため 11 月だったり、12 月だったり、遅いときは、1 月になったりします。ですが 2020 年は、コロナ禍のため、ラオス政府の意向により、全国的に 12 月 15 日～17 日に祝うことになりました。

晴れ着姿の子ども達

2015 年の国勢調査では、ラオスは 49 の民族から構成されていて、2017 年の国連推計によりますと、全人口 686 万人の内、最多のおよそ 53%を占めるのが「ラオ族」です。次いで、クムー族の 11%、モン族は、およそ 9%で 3 番目に多い民族です。主にラオス北部の標高 900m 以上の山岳地帯に住んでいます。もともとチベットにいたとされるモン族は、18 世紀に中国へ、さらに 19 世紀にはベトナムやタイへ移り住んだ民族と言われ、ラオスには、19 世紀半ば以降に中国南部より移住してきました。日本人のような肌の色や、顔つきをしています。

モン族は、先祖を崇拝し、精霊を信仰する民族です。大晦日の夕方 3 時から 5 時の間に村の全員が広場に集まり、門に茅で編んだ綱を張り、シャーマン（祈祷師）が生きた鶏を抱いて広場の高台に立ちます。村人は、広場を 7 回または 9 回ぐるぐる回りますが、2 周目にシャーマンは鶏の頭を撥（は）ね、脚をもって人々の頭上に鶏の血を降り注ぎます。その血でもって 1 年間の悪霊（あくりょう）を払い、新しい年の平安を祈ります。村人は血を受けることでそれが叶うと信じています。その儀式が終わると、各自、家に帰り、家長が家族の数の生卵と、生きた鶏 2 羽をお供えして悪霊を払い、次に卵と鶏をゆでて家族で食し、新年には良いことが来るようにとお祈りします。

お正月は 3 日間続きます。男女とも民族衣装で正装します。モン族の女性の民族衣装は、頭にターバンを巻いて、黒色の上着を着て、カラフルな刺繍を施した藍染めのプリーツスカートをはきます。胸元には大きなシルバーの胸飾りをつけ、腰には緑とピンクの 2 本の帯を締め、長い前掛けをするのが伝統的なスタイルです。一昔前は女の子が生まれると、親は藍染めの布に刺しゅうを施し、プリーツにするため太い糸でひだを取り、それを何年も縛ったままにしておいて、成人になって着るときに糸をほどいていました。ですが、最近では手間のかかる藍染のプリーツは敬遠されて、安いプリントタイプの衣装が主流になっています。ターバンも、20 年前は紫色の長い布で巻いたのですが、今は、冠や帽子のようなタイプのものが売られています。そして、きらきらと光るコインやビーズで飾りつけた衣装が、男女ともに流行っています。

モン族の家

働き者のモン族女性

モン族のお正月の行事で有名なのは求婚のボール投げです。ボールの大きさはテニスボールくらいです。大事な結婚のお相手をこの時に見つけます。モン族は結婚が早いので、男子は 18 歳くらい、女子は 14～15 歳になったら結婚します。男の子の列と女の子の列が向かい合って並び、

正月求婚のまり投げ

①初めてボールを投げるときは、まず苗字を聞きます。モン族は 18 の苗字があり同じ苗字の人同士は結婚できません。同じ苗字でしたら男性が謝って、親戚になります。
②すでに好きな人が決まっている場合は、好きな人に向けて即興で恋歌を歌いながらボールを投げ続け、お正月の後に結婚します。
ただ、残念ながら、コロナ禍のため、今年のボール投げは中止になりました。

日本では、島根県で 800 年の歴史がある「隠岐の牛（うし）突き」がありますが、ラオスでも、モン族は、闘牛用の牛を飼い、お正月には各村の牛同士が戦います。牛同士が角を付き合って戦い先に退散した方が負けです。何度か見学しましたが、負けた牛が逃げまどい、見学者の方に突進してきたときは怖かったです。

正月の闘牛

また、お正月の楽しみには、お餅もあります。モン族の常食は米ですが、お正月にはお餅を食べます。お餅は、大みそかの前に用意します。１m 半くらいの長さの丸太を縦に割ってくりぬいた中に蒸かしたもち米を入れて、日本と同じような杵（きね）で突きます。丸めるときは手に餅がつかないようにするため、ゆで卵の黄身を手に付けて、直径２０cm くらいの丸くて平たいおせんべいみたいな形にします。それをバナナの葉っぱで包んで、お供えもします。お餅にサトウキビの汁を煮詰めた甘いたれをつけて食べるのが好みです。

正月の餅つき

さらに、新年の 3 が日は、竹でできた「ケーン」というモン族が使う笛を演奏したり、民族の踊りを踊ったり、スポーツやけん玉大会などをして楽しみます。都会以外は映画館もなく、娯楽が少ないので、お正月は子供も大人もとても楽しみです。本当に、一昔前の日本のお正月と似ています。

餅つきの様子

バナナの葉に包み餅を焼く

お知らせ

NHK ラジオ「マイあさ！」　3 月 19 日（金）午前 8 時 6 分より放送
「アジア　ナウ」のコーナーでラオスについて代表の冨永が出演します。

【寄付者一覧（2020 年 9 月 1 日～2020 年 12 月 31 日）※日付順・敬称略

【 チャンパー山の民奨学金　寄付者一覧 】

亀田誠一郎（60,000 円）、山口正志（60,000 円）

【 カノック奨学金　寄付者一覧　1 口 12,000 円】

小松文子（1 口）、宗像邦司（1 口）、斎藤加代（3 口）、菅原由紀（1 口）岩月優子（1 口）、
賀元澄子（1 口）、片山純子（1 口）、五十嵐香苗（1 口）、松茂良米子（2 口）
ガールスカウト日本連盟千葉県第 45 団　井上薫子（1 口）

【 国際協力費・運営費　寄付者一覧　※2,000 円未満は省略させて頂きます。】

関矢綾子（3,000 円）、小松文子（3,000 円）、田中誠吾（6,000 円）、佐復正雄（3,000 円）
栗林トセ（50,000 円）、豊田利久（10,000 円）、武藤廣子（5,000 円）、稲葉尚子（3,000 円）
風間和江（5,000 円）、菅原由紀（3,000 円）、上田義朗（3,000 円）、岩月優子（3,000 円）
金野喜久子（20,000 円）、賀元澄子（3,000 円）、齋藤友美恵（2,000 円）、（有）イチカワ北海食品
市川知良（10,000 円）、友本貴士（60,000 円）、五十嵐香苗（3,000 円）、冨永幸子（2,000 円・幸子フード基金）、小沢秋子（10,000 円）、古谷朋子（3,000 円）、林千根（5,000 円）、
渡久地澄子（80,000 円）、井上貴美枝（10,000 円）

【 ドナー募集 】

○カノック奨学金、国際協力費・運営費、チャンパー山の民奨学金、各ドナーを随時募集しています。

①カノック奨学金ドナー　　12,000 円（1 口）以上
②国際協力費・運営費ドナー　個人:3,000 円以上／団体・法人:10,000 円以上
③チャンパー山の民奨学金　　60,000 円（1 口）以上

○申込方法　※銀行振込の方は事務局までご住所等詳細をお知らせください。
郵便振替　:（口座番号）　00140-5-537168　**（加入者名）IV-JAPAN**
銀行振込　:埼玉りそな銀行浦和中央支店　普通預金　口座番号:5038052
名義人:（特非）国際協力 NGO・IV－JAPAN

編集後記　（日本事務局　瀧口恭平）

2 歳を過ぎた甥は、私たち大人の会話をよく聞いているようで、オウム返しのように真似をして似たような言葉を話そうとします。その瞬間はまだまだ曖昧な言葉でしかないことも多いですが、数日後には明確な言葉を話すようになっていたりして、私はすごく驚きます。ラオスに住み、ラオス語で会話ができるようになるまでに随分と時間がかかった私ですが、会話の手段としての言葉を学ぶための真髄を、今更ながらに甥から教えてもらっているかのようです。言葉に限らず、走ったり跳んだり、体当たりでどんどん成長していく甥。理屈で物事を考える機会が多いこの頃ですが、時には感覚に従って身体を動かさなくてはと気付かされます。

認定・埼玉県指定　特定非営利活動法人　国際協力 NGO・IV-JAPAN

当会へのご寄付は、寄付金控除の対象になります。

日本事務局
〒330-0856　埼玉県さいたま市大宮区三橋 2-545-2-101
TEL/FAX:048-622-8612
E-mail: iv-japan@vanilla.ocn.ne.jp
https://iv-japan.org/

ラオス事務所
P.O Box7920 Vientaine, Lao PDR
TEL/FAX : +856-21-316047
E-mail: ivjapan.vte@gmail.com

アカウンタービリティ
セルフチェックマーク